

## 令和3年度第1回 城陽市環境審議会議事録

日時	令和3年11月1日（月）午前10時30分～午前11時30分	
場所	城陽市役所 第1会議室	
議題	<p>◆ 会議</p> <p>①令和2年度城陽市環境測定結果について</p> <p>②令和2年度城陽市環境マネジメントシステム（J-EMS）実施結果の報告について</p> <p>③城陽環境パートナーシップ会議事業報告について</p> <p>④その他</p>	
出席者	委員	新川会長、中川副会長、岡本委員、谷口委員、中原委員、弘本委員、宮永委員、岡井委員、木下委員
	行政	森田市民環境部長、東村市民環境部次長、浜崎環境課長、山田主任、成田

<質疑等の概要>

◆①令和2年度（2020年度）城陽市環境測定結果について

事務局より説明。

会長： ただいま令和2年度環境測定結果について事務局より報告を受けました。また、参考資料としてこれまでの経過もいただいております。この、環境測定結果につきまして、各委員からご質問、ご意見等いただければと思います。よろしくお願いたします。

委員： いろいろと新しいことを調査していただいておりますが、今年度以降、新しい調査は考えておられますか。

事務局： 大気や公共用水域を含めた水質の調査に関しましては、現行のものを続けさせていただければと思います。これと併せまして、今後、新名神が開通することから、新たな測定地点をどうするのかについては、今後、検討が必要だと思っています。現時点では、この状況を継続していくことを考えております。

副会長： 今の質問と関係するのですが、新名神が開通したら、交通量がある程度増えると思います。粉塵であるとか、騒音や振動など、周辺の住環境に非常に影響すると思いますが、これを抑えておく必要があることから、開通後のデータだけでなく、竣工する前のデータと比較するため、定点を増やす必要がないのかなと思いますが、どうでしょうか。

事務局： 今、ご質問いただいたとおり、前後を比較することは重要ではないかということ

は、私共も認識しております。消防本部で計測しております大気測定に加えまして、どういったものが必要になるのか検討しているところです。前後を比較して問題がない状況、あるいは数値の変化がある、こういったものをお伝えするのが私共の責務と思っていますので、それも含めて準備を進めたいと思っています。

会長： 次年度になるかもしれませんが、測定地点等々を含めまして、ご検討状況を報告いただければと思いますので、よろしくお願いします。その他、いかがでしょうか。

委員： よく似た環境の宇治市、京田辺市等と城陽市との比較はされているのでしょうか。

事務局： ただいま手元に宇治市、京田辺市の数値の持ち合わせはございませんが、基本的に大気や水質測定の所管は京都府になります。城陽市は市民からの要望もあり、このように公共用水域7地点、大気21地点、地下水14地点を自主的に測定しております。私共の測定はしっかりとやらせていただいていると思っております。

会長： 3市とも環境基準そのものは基本的には守られていると聞いております。特段、どこがいいということはないのですが、検査体制、調査体制という点では、本市は比較的しっかりされていると思っております。その他、いかがでしょうか。

それでは環境測定結果のご報告につきましては、以上とさせていただきます。議題がいくつか残っておりますので、進めさせていただきます。

#### ◆②令和2年度城陽市環境マネジメントシステム（J-EMS）実施結果の報告について

事務局より説明。

会長： 令和2年度の城陽市環境マネジメントシステムの実施結果について報告をいただきました。これにつきまして、各委員からご質問やご意見がありましたら、よろしくお願いします。

委員： 説明の中にも何度か出ていきましたが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響が社会全体にもものすごく大きな影響を及ぼしたというのが、外せない事象だったと思います。説明の中で何か所か、例えば14ページの公用車の削減とか、それから一部の施設で窓を開けた状態で空調が使われたため、温室効果ガス排出量が少し増加しているとか、小中学校の活動に関して9月以降の実施となったなど、ご説明の中でお聞きしました。その他、例えばオフィス活動をされている中で、行政の場合は大体コロナ禍の中でも、皆さんお仕事されるために庁舎に出勤されていると思いますが、何かお感じになられているところ、ワークスタイルの中での変化、あるいは意識の中の変化等、感じておられることがあれば教えていただきたいと思います。それから、まとめの中でも、総括的なところにコロナ禍のことは書かれてはどうかと印象的には思いました。

事務局： 少し細かくなりますが15ページをご覧くださいと思います。先ほど委員の

方からもありましたが、施設別温室効果ガス排出量としまして、やはり子育て支援課関連施設、小中学校などは増加しております。コロナ禍の中、私共が行っております事務にどういった変化があったかをご質問いただいているかと思いますが、環境施策ではないところで言いますと、Zoomでの会議が当たり前になってきています。実際にコロナ禍になってからweb会議室も設けましたし、今後も活用が増えていくと思います。こういった会議室等の透明の仕切りや手指消毒、庁舎出入口に設置している体温測定についてもコロナを防ぎつつ、かつ事務はしっかりやるということを目指して日々取り組んでいるところでございます。見えないところでは時差勤務もやっています。いろいろな取組を進めながら、やはり市役所には、市民の方が来庁されるため、事務の兼ね合いも見ながら、私共もコロナを広めないような施策を順次行っているところです。

15 ページのお話に戻りますが、トータルでは温室効果ガス排出量が減りましたというお話をしましたが、何で減ったのかと言いますと、効率の悪いことをした施設がある一方、休館していて使用していない施設もあったことから相殺して減っています。ただし、今年度につきましては休館期間が少なくなっていますので、来年度に報告をする際は、この数字は顕著に増加すると思っています。その総括の際にコロナ禍のことをお伝えする形になるかと思っています。

会長： その他、いかがでしょうか。

委員： J-EMSは旧ISOの時代からだいぶ長く経過してしまっていて、今、成熟期といえますか、意地悪な言い方をすればマンネリ期といえますか、なかなか新しい展開が見えない中で、特効薬が見つからない状況なのかなとも思います。庁内でできることは手詰まり感がある中で、納入業者といえますか、契約の相手先に環境配慮を求めていく方向を検討されてはいかがでしょう。ビジネスの世界では環境経営が進んでいまして、自社だけでは環境対策をしても環境経営とはみなされません。サプライヤーへの働きかけなどをやらないと、なかなかESGのマナーが入ってこない。そういう時代になっていますので、当然、ビジネスと役所は違いますが、役所の取組を進めていくためには、そういうことをどんどんやっていかざるを得ないのかなと思いました。法律も環境配慮契約法やグリーン購入法などの根拠となる法律もいくつかありますし、そういう法律を使いながら役所としても、その方向に可能性を見出していくことが考えられるのかなと個人としての感想ですが思いました。2つ目ですが、これも前から何回か言ってきたことですが、温暖化と並んで今関心が高いのが、ゴミですね。プラごみの問題がありまして、レジ袋の有料化など市民の関心が高いと思いますので、これを機にそういう領域で活動を展開していかれてはと思います。今後、アウトレット等が開業するに伴いごみが大量に増えると思われるので、それに先手を打つ、機運を整えてからアウトレットが開業する、アウトレットが対応をする。前も少しそんな感じでプラスチック領域をやってみて

はどうですかとお話したかと思えます。

会長：ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。もし何か取組とかあればお願いいたします。

事務局：ごみの問題につきましては、ごみの量の増加はこれからアウトレットが開業するに伴い、目の前に出てきている問題です。それにつきましては、城陽市の一般廃棄物処理基本計画の見直しをしまして、そちら計画である一定の想定量のごみの増加を見込んでおり、それに対してどうしていくかも含めて検討している状況でございます。レジ袋についても、プラスチックごみ削減につきましても、有料化も含めその計画の中で検討していきたいと考えているところです。

会長：ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

副会長：17～19 ページに令和2年度の小中学校の色々な取組がまとめられていて、しっかり取り組んでくれていると感心しているところですが、ペーパーレス化を意識されている学校がありますよね。18 ページの久世小学校、19 ページの寺田西小学校、富野小学校に至っては「タブレット活用によりペーパーレス化が進んだ」との記載があります。私の研究室でも大学教授会の資料は大量の紙を配布していましたが、タブレットでやりました。タブレットでやったのは何が良かったかというところ、このコロナになってリモートがやりやすい。この記載から、おそらく小中学校はタブレット化が進んでいるのではないかと思います。大いにこれを活用していただいてペーパーレス化、是非率先してやっていただきたい。セキュリティの問題など難しいところがございますが、小中学校でペーパーレス化が進めば、これも素晴らしい城陽市の売りになるかもしれません。

この審議会で聞いていいのかわかりませんが、城陽市とリモート会議をしていますが、通信環境があまりよろしくない。フリーズしたり、動きがぎこちなかったりするんで、城陽市の通信環境を知りたいです。

事務局：事務局の知りえる範囲というところの回答とはなりますが、京都府にはセキュリティアクラウドというネットワーク網があります。1ギガでつないでいる回線を使って、それを誘導する形でインターネットにつながるような形になっているのですが、これが庁内の環境をインターネットに出すにあたり、かなり強固なセキュリティを京都府の方で構築されています。それを超える際に、通常、皆様がつないでおられるインターネットで行き来するような感覚でやり取りができないということが実際のところとして、私共がインターネットを自席で見る際にも制約を受けますので少し遅くなってしまう。皆様が大学や一般家庭でつなげるより、少し遅くなる要素を含んでいるというのが、庁内のインターネット環境でございます。先ほど申しました web 会議室が、少し改善できるようにした会議室となっています。そのため、普通のインターネットを使うような環境に庁内はなっていないというのが実情でございます。

副会長：ペーパーレス化するときに、必ずこの問題が出てきますので、是非対応していただ

きたいと思います。

会長：学校だけでなく、是非庁内もペーパーレス化を進めていただきたいと思います。その他、いかがでしょうか。

委員：次回の会議の開催時期はいつぐらいになりますか。

事務局：来年に関しましては、その他でお話ししようかと思っていましたが、ここでお話させていただきます。城陽市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）並びに城陽市エコプランが来年度改定時期に当たりますので、来年度は審議会の開催回数が増えることと思います。その予算の兼ね合いで、今年2月下旬にも、審議会を開催しなければいけないかなと思っているところです。まだ確定ではございませんが、時期が来ましたら、ご案内させていただきます。

会長：よろしゅうございますか。なければ次の議題に行きたいと思います。

### ◆③城陽環境パートナーシップ会議（以下P S会議）事業報告について

事務局より説明。

会長：ただいまご説明がございましたように、昨年度の状況はやはり新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が実施できなかった中で、残念ながら直接集まって事業をするということは難しかったようで、YouTubeを活用された活動をされたようです。今年度もコロナ禍が続いておりまして、なかなか活動しづらい状況が続いていますが、その中でも可能な限りということで準備をさせていただいているようです。このP S会議の事業報告、今年度の事業計画につきまして、何かご質問・ご意見がございましたらよろしくお願いたします。

副会長：些細なことで申し訳ないのですが、エコバックの外装はプラスチック以外のものにできませんか。

事務局：中のチラシが見えるようにということでこういう形にさせていただいています。今後、検討させていただきます。

会長：ご存知のとおり、EUではすでにプラスチック包装を禁止する方向で進み始めています。我が国でもプラスチックごみについては立法もされ、対策がこれから本格的に進もうという時期に来ています。率先して城陽市も取り組んでいかれることが必要かもしれません。なお、産業界でも既にプラスチック包装から紙包装へという大きな動きが始まっていることでもありますので、市としてもご検討していただきたいとも思います。よろしくお願いたします。

委員：先ほどのJ-EMS報告書のところで、アドバイザーの方がエコプラン取組について、これから適応策も不可欠ではないか、行政が行っている事業に対してどんなアイデアを出して改革していかれてはどうかというご提案がされていたり、

先ほど委員からのご指摘のようなE S Gの経営が社会に広がっている中で、行政もある程度そこに意識を向けていくことが必要ではないかというような、大きな社会のつながりの変化というものが起きています。こちらのP S会議の活動の中でも市の研修とセットにするような形で、新しい情報を吸収される機会をできるだけ盛り込んでいかれるようにされてはどうかと思います。とても熱心に活動されていますので、そこに新しい情報も入っていくと、さらに広がっていくと思います。

会長： ありがとうございます。P S会議は本当に20年、長い期間、活動されていますが、その中で次々と新しい取り組みをやってはこられているのですが、環境問題は色々な分野にどんどん広がって、市民活動としても積極的に活動を広げていかないといけないところがたくさんあるかと思っています。P S会議の皆さん方にも新しい情報が的確に伝えられ、学習の機会が設けられ、そしてP S会議の活動が活発に展開できる、そんなことを行政としても是非お考えいただきたいというご意見をいただいたかと思っていますので、これはまた、事務局でもご検討頂ければと思います。よろしくをお願いします。ここまでのところ、いかがでしょうか。

その他としまして、事務局から追加資料をいただいておりますが、これにつきまして事務局からご説明をいただければと思います。よろしくをお願いします。

#### ◆④その他

事務局より説明。

会長： ただいまご説明いただきましたが、今月開催の環境フォーラムで市長さんから城陽市がカーボンニュートラル宣言をされるということで、今、説明がございました。

もし何か、各委員からご意見・ご質問がございましたらお願いします。

副会長： 1段落目と2段落目のつなぎの部分として、地球温暖化と書いてあるのですが、その前に一言、温室効果ガスの説明があれば、そこで、温室効果ガスの排出が多くなり温暖化につながる、そのため、温室効果ガスを減らしましょうとするをつなぎが良くなるかと思っています。検討をお願いします。

会長： そのこのところを工夫されてはと思います。

事務局： P S会議にも持ち帰って、いただいたご意見を基に検討したいと思います。

会長： それではご意見がございましたら、事務局にお伝えいただければよいかなと思っております。本日、予定しておりました会議は、以上となります。各委員から何かございましたらお願いしたいと思っています。いかがでしょうか。それでは特にないようですので、本日の会議は以上とさせていただきます。

以上